

残響室法音響パワーレベル測定システム

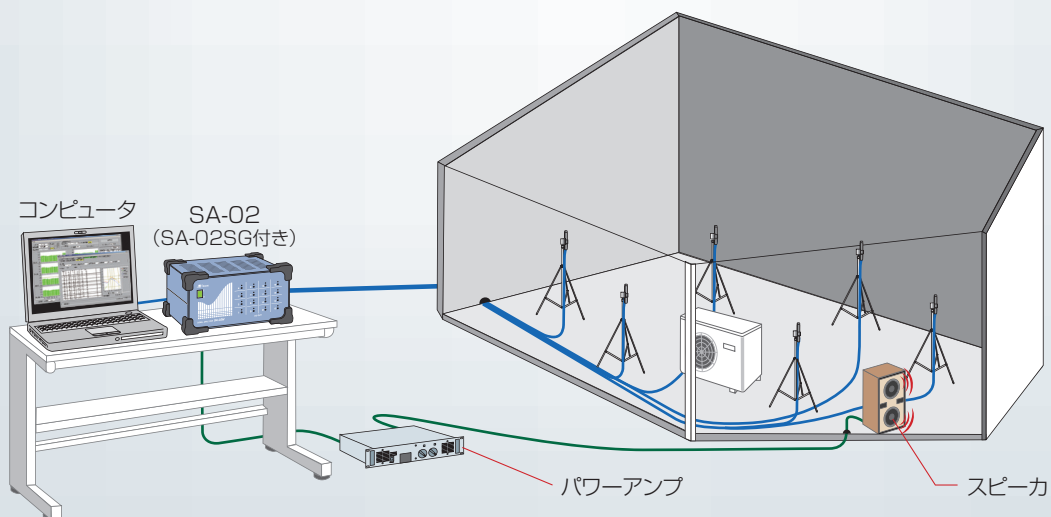
機器から発する音の大きさを表す際に音響パワーレベルが用いられます。

音響パワーレベルは音源が放射する音の全エネルギー量を表します。騒音レベルと音響パワーレベルを地震に例えると、騒音レベルが各地の震度で、マグニチュードが音響パワーレベルに相当します。各地の震度は震源からの距離だけでは決まらず、伝播経路や地盤の構造によって異なるように、音の場合も、音源の指向性や測定位置までの距離により騒音レベルは異なります。そこで、音響パワーレベルが使用され、特に欧米では、機器の音響パワーレベルの記載が必要となります。

音響パワーレベルの測定方法は JIS や ISO で定められており、測定原理は音圧法と音響インテンシティ法があります。音圧法は測定環境として半無響室、無響室、反射面上の準自由音場、残響室を用います。音響インテンシティ法には測定方法として離散点法とスキミング法があります。

本システムは残響室法音響パワーレベルの測定システムです。

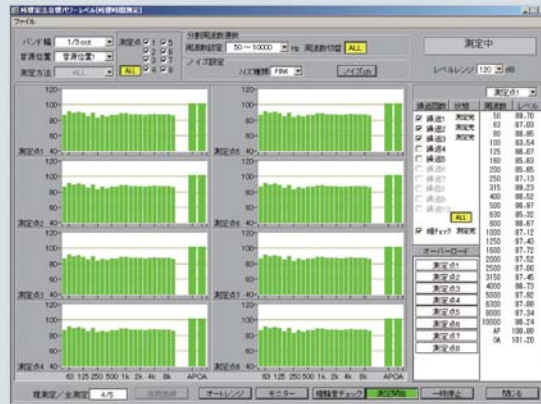
システム図



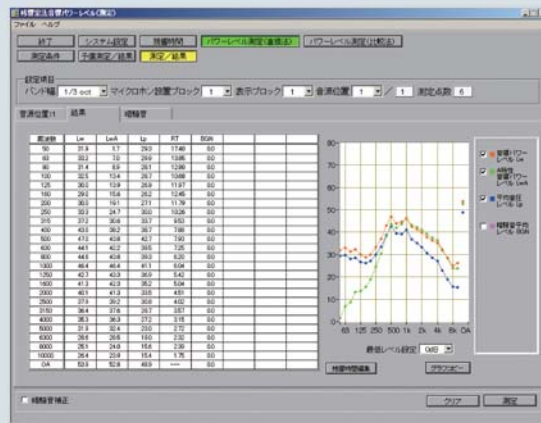
機器構成

品名	型式	使用数
多チャンネル分析処理器	SA-02M (1~32ch)	1~2
信号出力ユニット	SA-02SG	1
SA-02用コンピュータ		1
残響室法音響パワーレベル測定ソフト	AS-31PA5	1
スピーカ		1
マイクロホン/プリアンプ	UC-52/57/59+NH-22、UC-52T/57T/59T	1~32
BNC-BNC同軸ケーブル	EC-90シリーズ	1~32
マイクロホンスタンド		1~32
1/2インチマイクホルダ	UA-90	1~32

測定結果例



測定画面



測定結果画面

使用事例

家電製品、OA機器、モータ、空調機の音響パワーレベル測定など

適合規格・参考文書

JIS Z 8734 音響-音圧法による騒音源の音響パワーレベルの測定方法-残響室における精密測定方法



当社は、認定基準としてISO/IEC 17025(JIS Q 17025)を用い、認定スクームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関(IA Japan)は、アジア太平洋試験所認定協力機構(APLAC)及び国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互承認に署名しています。当社の品質・環境統括センターは、国際MRA対応JCSS認定事業者です。JCSS0197は品質・環境統括センターの認定番号です。

ISO14001 本社・東海営業所・西日本営業所 認証取得
ISO9001 本社・東海営業所・西日本営業所・九州リオン・リオンサービスセンター 認証取得



*本カタログ掲載の会社名、商品名は一般に各社の登録商標または商標です。*本カタログ掲載の各製品のデザイン・仕様などは予告なく変更する場合があります。

技術相談受付 ☎ 0120-26-1566

当社の休日および土・日・祝日を除く
9:00~12:00 / 13:00~17:00

- 本社・営業部 〒185-8533 東京都国分寺市東元町3丁目20番41号
TEL.042-359-7887 FAX.042-359-7458
- 西日本営業所 〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目5番5号 横山ビル
TEL.06-6346-3671 FAX.06-6346-3673
- 東海営業所 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2丁目3番23号 和波ビル
TEL.052-232-0470 FAX.052-232-0458
- 九州リオン(株) 〒812-0039 福岡市博多区冷泉町5番18号
TEL.092-281-5366 FAX.092-291-2847
- 上海理音科技
有限公司 郵編200233 中国上海市徐匯区宜山路900号 科技産業文化大樓C区501室
TEL.021-5423-5082 FAX.021-5423-5266
- リオンサービス
センター(株) 〒192-0918 東京都八王子市市兵衛2丁目22番2号
TEL.042-632-1122 FAX.042-632-1140